

経営比較分析表（令和2年度決算）

福島県 磐梯町

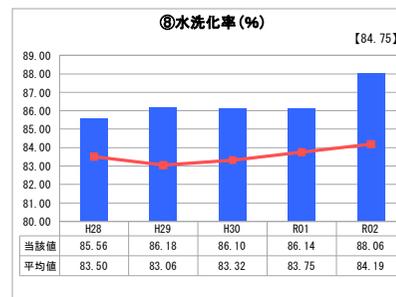
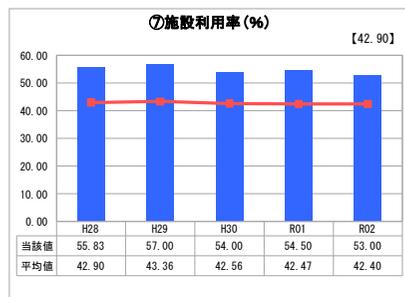
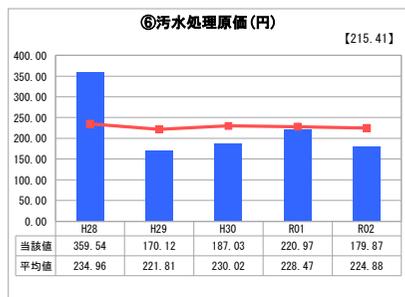
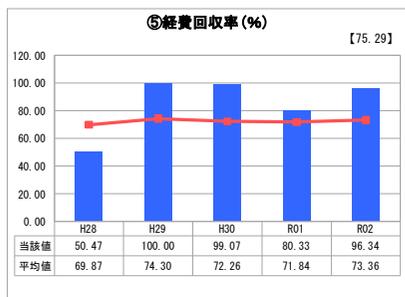
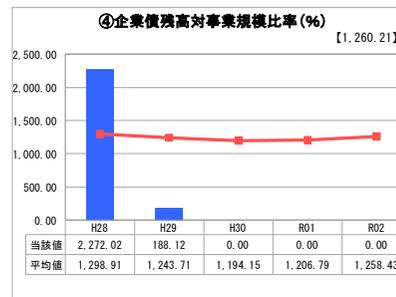
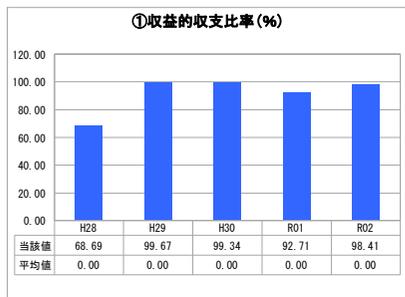
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	59.28	100.00	3,072

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,407	59.77	57.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,002	1.10	1,820.00

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

下水道は衛生的な生活環境を確保するとともに、水質保全・自然環境の保持のために必要不可欠な施設であり、持続的なサービスの提供が求められます。その経営の健全化のためには、収入・支出両面において経営基盤強化のための取組を進める必要があります。具体的には、以下のようなものがあげられます。

収入面で見ると、水洗化率の向上による有収水量の増加を図る一方、人口減少や節水機器の普及に伴う有収水量の減少等を見込んだ適切な料金水準の設定を行うことにより安定した収入確保に取り組む必要があります。

支出面で見ると、起債の償還はピークを超えたが依然大きな割合を占めていることから、予防保全的なメンテナンスと維持管理に努め経費を抑制していかなければなりません。

2. 老朽化の状況について

供用開始から20年以上を経過しているが、管路については老朽化はあまり見受けられません。しかし、処理施設の、機械・電気設備等は経年劣化により不具合が発生してきています。そのため、ストックマネジメント計画を策定し、修繕費用の平準化を図り、補助金や起債を活用しながら施設の適切な維持管理を行っていくことが必要となります。

全体総括

人口減少や節水型機器の普及に伴う使用料収入の減少、老朽化した施設の修繕や更新等にかかる費用の増加により、さらに厳しい経営環境となることが予想されます。経費削減や更新投資に充てる財源を確保し、将来にわたって持続可能な健全経営を行うため、更新費用の平準化や料金改定等も視野に入ることが必要となっています。

今後は、持続可能なストックマネジメントの推進や、適切な原価計算に基づく料金水準の設定をするため、公営企業法適用に取り組み、安心・安全な生活環境の確保に努めていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。